

教育講演 2

大会 2 日目 9 月 3 日 (日) 10:00~11:00 ホール

運動器理学療法 Up to Date

講師 木藤 伸宏

広島国際大学 (日本運動器理学療法学会 代表運営幹事)

学 歴

昭和61年 4 月 労働福祉事業団九州リハビリテーション大学校理学療法学科 入学
平成元年 3 月 労働福祉事業団九州リハビリテーション大学校理学療法学科 卒業
平成18年 3 月 広島大学大学院保健学研究科 保健学専攻博士課程前期 修了
平成21年 5 月 広島大学大学院保健学研究科 保健学専攻博士課程後期 (博士 (保健学)) 修了
平成 元年 6 月 理学療法士免許 (第17492号)
平成 17年 7 月 骨関節系専門理学療法士 (登録番号3-83)

職 歴

平成元年 4 月 医療法人玄真堂川島整形外科病院リハビリテーション科 理学療法士
平成11年 4 月 医療法人玄真堂川島整形外科病院リハビリテーション科 科長
平成18年 4 月 広島国際大学保健医療学部理学療法学科 講師
平成23年 4 月 広島国際大学保健医療学部総合リハビリテーション学科 准教授
平成24年 4 月 広島国際大学大学院医療・福祉科学研究科 准教授
平成25年 4 月 広島国際大学総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科 准教授
平成29年 4 月 広島国際大学総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科 教授 現在に至る

学会及び社会における活動等

平成26年 2 月 公益社団法人日本理学療法士協会日本理学療法学会日本運動器理学療法学会 代表運営幹事 現在に至る
平成27年 6 月 公益社団法人日本理学療法士協会日本理学療法学会 運営審議委員 現在に至る

運動器理学療法 Up to Date



木藤 伸宏

広島国際大学 (日本運動器理学療法学会 代表運営幹事)

この1世紀ほどで医学・医療は進歩したが、ほとんどの疾患に対する特効薬はいまだ存在せず、生命の自然治癒力に依存した治療が多い。そして医療は、すべての疾病を治すことが可能なほど万能ではない。また、多くの疾患は病理学的変化が必ずしも症状に直結しているわけではなく、症状を引き起こす一要因にすぎない。つまり、医療は疾患を治すことも重要であるが、それ以上に患者の持つ問題を解決することが重要となる。多くの要因が複雑に関与し症状を起し問題を引き起こしているため、その解決策として多くの方法が存在する。

理学療法士は医療チームの一員として患者の問題解決に当たる。医療チームは患者が有している問題を解決するために機能する。では、理学療法士は医療チームの中で患者の何の問題 (理学療法士の専門性) に向き合うべきかを定義しなければならない。その「何の？」が理学療法士の存在意義、つまりフィロソフィーである。理学療法士は感覚運動システムの異常を判断・治療・予防する。そして、運動と身体活動の問題課題を解決するために理学療法介入 (評価、治療、効果検証) を提供することによって健康状態を脅かしている感覚運動システムの機能の問題、その下位システムの問題 (筋機能、関節機能、神経系機能、軟部組織、呼吸機能、循環機能、消化系機能、排泄機能、免疫機能、代謝機能など) の改善を専門とする。

本講演では上記の理学療法士の専門性を踏まえ、運動器理学療法のあるべき方向性、現状とのギャップ、ギャップを解消するための戦略について報告する。